

# 平成25年度 第7回 市民と市長の対話集会 市長と語ろう!ほっとミーティング

## 開催結果報告書

- 1 開催日時 平成25年(2013年)8月22日(木)  
午後7時から午後9時まで
- 2 開催場所 須賀公民館 ホール
- 3 テーマ 港地区のまちづくり
- 4 出席者 参加者16名 傍聴者20名



須賀公民館での集会の様子

## 5 市長あいさつ

皆様、こんばんは。本日は夜分非常に暑い中、対話集会に御参加いただき誠にありがとうございます。御礼申し上げます。

約3年前になりますが、東日本大震災がありました。私は震災直後の4月に就任させていただきましたが、この震災は行政運営を根本から考え直させる出来事になりました。行政の大きな役割は、市民の皆様の安心安全を守ることです。そこで、就任後から、津波対策を中心とした防災対策に取り組んできました。この対話集会においても、平成23年度は市内4か所にて防災対策をテーマに開催させていただきました。

平成24年度からは、地区自治会連合会単位にて、地域のまちづくりをテーマに対話集会を開催させていただいています。平成24年度は14回、今年度はこの港地区が7回目の開催です。地域の課題や取り組みを聞かせていただき、市政への反映を考えさせていただいています。

平塚市の各地域にはそれぞれの魅力があります。昔から、この港地区は平塚市の中心であり、歴史や活気がある素晴らしい地域です。私は、地域の課題を地域で捉えて取り組むことで、地域はより輝き、その輝きが地域の集合体である平塚市を発展させると信じています。当然、行政は責任を持ってまちづくりを進めさせていただきますが、まちづくりの主人公は市民の皆様です。このような思いのもと、この対話集会も開催させていただいています。

また、今日皆様からいただく御意見や御質問に対し、具体的な内容などを担当課に確認する必要もあるかと思えます。その際には、事務局から担当課に確認し、回答を皆様にお返しさせていただきたいと思えます。今日はよろしくお願いたします。

## 6 主な対話集会の内容

### ① 港地区のまちの整備について

#### 【参加者】

港地区は環境がとても良い地域です。高齢化社会を迎えた今、若者が住みたいと思う港地区になるために、この環境を生かすべきです。平塚駅から海に向かう通りや須賀の商店街など、海や渚のイメージをテーマに地域づくりを行えば、若者が集まって賑わいが生まれると思います。

#### 【市長】

平塚駅南口から海岸に向かう道路は県道ですが、この通りを中心として、平塚市の明るい海のイメージで賑わう地域になってほしいと考えています。ボランティアの方などに御尽力いただきながら、海のイメージを生かした地域づくりに取り組んでいます。また、この地域は景観を損なわないよう、極端な色の建物や基準以上の高い建物が建てられない地域に指定されています。神奈川県にも呼びかけながら、駅からの通りを中心としたこの地域に、人の賑わいが生まれるまちづくりを目指していきたいと考えます。

#### 【参加者】

平塚駅南口では、駐輪場が不足しています。南口のロータリーや広場がきれいに整備されたことは良いことですが、駅を利用する住民として、駐輪場は必要な施設です。

#### 【市長】

おかげさまで、北口や西口には駐輪場が整備され、自転車対策を進めさせていただきました。御意見のとおり、南口の自転車対策が大きな課題です。市議会においても、地元の市議会議員の方からは御質問をいただいています。駐輪対策を行う平塚市まちづくり財団とは、駐輪場を整備する場所の確保など、具体的な自転車対策を進めていきたいと考えます。

#### 【参加者】

まち全体をバリアフリーに整備してほしいです。市役所や博物館、美術館などへ、高齢者でもスムーズに行くことができるまちにしてほしいです。特に、平塚駅を越えて市役所などに向かうとき、駅と国道1号は障害です。高齢者や障がいのある方にとって、駅の階段や国道1号の歩道橋を越えることは大変難しいことです。

### 【市長】

ステーションビルが閉店すると、エレベーターやエスカレーターが使用できません。閉店後には、南北の行き来に障害があります。西口の南側には、10月までにエレベーターが設置されます。課題は北口の対策で、現在、ステーションビルと協調しながら、エレベーターの設置など、北口のバリアフリー化を検討しているところです。

今年の正月、大門通りから平塚八幡宮まで、国道1号を横断できる取り組みを行いました。初詣に向かう方には大変好評でした。今後、新しくなる市役所には税務署なども統合されて利便性が高まります。また、日産車体跡地にはショッピングモールなどの計画もあります。南側から駅を越えた地域まで、スムーズに向かうことのできる仕組みを考える必要があります。

### 【参加者】

昔から、港地区の大浜の地域には区画整理の話があります。今後計画される海岸地域の様々な開発によって人を呼び込むためにも、まずは大浜の地域の整備が必要です。

### 【市長】

平塚新港周辺、大浜の地域の整備については、長く御要望をいただいています。市議会議員の方からも御意見や御質問をいただいている課題です。早急に区画整理を行って住居や道路などの環境を整備することは難しいことですが、津波対策を含めて住みやすいまちになることは必要です。結論としては、今年度の予算措置の中で、まずは調査を行い、大浜の地域の整備方法を検討することになりましたので、御理解くださるようお願いいたします。

### 【参加者】

神奈川県に住みたいまちのランキングにおいて、平塚市は33市町村中20位前後です。これだけの環境がありながら、決して高くない順位の原因の一つには、競輪場の悪いイメージがあるようです。そこで、競輪場で明るいイメージのイベントを行えば、平塚市の印象も良くなり、人が集まって賑わうまちになると思います。

### 【市長】

今日も競輪の開催があり、この会場に来る前に寄ってきました。競輪の開催にあたり、地域の皆様に御協力いただいていることに厚く御礼申し上げます。

競輪場のメインスタンドには耐震性がないため、今年度からスタンドの改修をはじめます。改修にあたり、地域への説明はしっかりと行っていく考えです。

改修に伴い、競輪場を南側地区の防災拠点にしたいと考えています。津波からの避難場所となる高さを考えています。また、競輪場には選手が寝泊まりするためのお風呂などの設備もあります。被災された方の避難場所としての機能も持つ競輪場になるよう、設計を行っていきます。

全国に競輪場は44場ありますが、半分以上が開催するだけで赤字という厳しい状況です。しかし、平塚競輪は、スタッフの努力もあり、全国でも上位の売り上げをあげます。平塚競輪は戦後復興の平塚市に与えられた一つの資源です。バブルの時期には競輪の売り上げから約50億円、今は2億から3億円に減りましたが、行政サービスに還元されています。御意見のとおり、イメージアップもとても大切です。賭け事のイメージだけでなく、自転車スポーツとしてオリンピックにも採用される良いイメージを取り入れていきたいと考えています。引き続き、地域の皆様に御迷惑がかからないように開催させていただきながら、イメージアップとさらなる行政サービスへの還元を考えていきたいです。

#### 【参加者】

港地区には、まちの活性化に生かすことができる様々な良い施設や資源があります。しかし、それぞれが独立しているため、地域としてのつながりや一体感が感じられません。良いものをつなげてイメージアップを図ることで、遠くからも人が集まると思います。

#### 【市長】

さがみ縦貫道路が平成26年度中に開通します。これからは、内陸や日本海側からも、平塚市に来やすくなります。新湘南バイパスの終点地から右折して湘南大橋を越えると、平塚漁港があります。平塚市漁業協同組合では、この交通インフラを生かそうと、国に六次産業化（農業や水産業などの第一次産業が食品加工・流通販売にも業務展開している経営形態）を申請して認められました。六次産業化により、須賀の地域に地元の魚を使った食堂と加工場を併設する計画があります。また、今年度で閉鎖される龍城ヶ丘のプール跡地や湘南海岸公園を中心とした地域には、漁業や農業など、地場産のものを楽しんでいただける施設を検討しています。さがみ縦貫道路の開通とともに、国道134号が4車線化されます。平塚市は単に通過されるまちでなく、行き帰りに寄ってもらい、良いものを楽しんで味わってもらえるまちになってほしいと考えています。

## 【参加者】

札幌町にある信用金庫の前の交差点はとても危険で、交通死亡事故が起きたこともあります。5差路の交差点で歩道橋があるのですが、高齢者は歩道橋を渡ることが難しいために道路を横断してしまいます。子どもも、歩道橋を渡らずに道路を走って横断しようとしてしまいます。すると、鋭角に曲がってくる自動車と鉢合わせになってしまうために事故が起きてしまいます。そこで、5差路交差点を渡ることができるスクランブル交差点にして信号機による横断時間を確保すれば、交通安全対策になると思います。

### 担当課回答（集会后、次のとおり担当課に確認しました。）

信号機については、公安委員会（警察）の管轄になっていきますので、御要望の内容を平塚警察署に伝えたところ、「スクランブル交差点は駅前などの歩行者が集中する箇所について、歩行者の利便性を図るために設置するものであることから、歩行者が集中することが予想されにくい当該地については設置できません。」との回答がありました。

また、高齢者が歩道橋を渡ることが難しいとのことから、現地に横断歩道と歩行者用信号機を設置することについて、あわせて平塚警察署に問い合わせたところ、「歩道橋を設置したままで当該地に横断歩道を設置することは、ドライバーの視距を確保できないなどの理由から、歩道橋を撤去することが前提となります。現在当該歩道橋は、通学路として児童が利用していることから、学校関係者やPTA、地元住民の合意が必要となります。合意があったうえで、当該地の利用頻度の見込みや安全性を勘案し、歩道橋の管理者である神奈川県とも協議して、横断歩道と歩行者用信号機の設置について、検討したいと思いません。」との回答がありました。

なお、「現在において、歩道橋を利用せずに道路を横断してしまうのは、危険なのは当然のことながら、交通ルールを守らないことにもなります。また、当該地付近では、残念ながら過去に国道129号を横断中の自転車利用者が自動車にはねられて死亡するという痛ましい事故も発生しています。歩道橋を渡ることが難しい場合は、お手数ですが、お近くの横断歩道まで迂回して渡っていただくようにお願いします。」とも、付け加えて回答がありました。

（事務担当は交通政策課自転車対策・交通安全担当）

**【参加者】**

フェイスブックなどのインターネット上では、多くの人が平塚市を盛り上げたいと議論しています。様々な能力を持った人が平塚市の活性化に興味を持っています。そのような人や団体がまちづくりに参加できる体制も必要です。

**【市長】**

人材活用について、例えば、高齢者の方などには、これまで培ってきた能力や知識があります。ぜひ、そのお力を地域づくりに還元してほしいと考えています。具体的な方法としては、社会教育の分野において、人材登録の運用も進めています。行政も、様々な方に能力を発揮していただける機会づくりが必要になります。また、まちづくりにおいては、様々な市民団体にも御活躍いただいています。団体が活動しやすい支援を行うことも、行政の役割です。

**【参加者】**

行政が取り組むまちづくりやサービスには、とても良いものが多いですが、市民に認識されていないことも多くあります。市民からの反応によってさらに良くなることもあるはずですが、取り組みをアピールすることも大切です。

**【市長】**

先ほどのお話と同様、先日、雑誌に掲載された暮らしやすいまちのランキングに平塚市がありませんでした。とても残念なことですが、決して捨てたまちではありません。行政サービスにおいても、子どもの医療費を免除することなど、平塚市の良いものはインターネットなどでアピールする必要があります。度々、平塚市は情報の発信が上手でないと言われていました。そこで、今、広報の強化を図っています。平塚市の情報を積極的に発信し、良いものを知っていただく取り組みを進めているところです。

**【参加者】**

パブリックコメントの実施はとても良いことです。しかし、せっかくの制度が市民には認知されていません。パブリックコメント自体を知らない人も多くいます。

**【市長】**

パブリックコメントは、行政の課題や取り組みに対して、広く市民の皆様から御意見を伺う制度です。しかし、御意見のとおり制度自体が知られていなければ意味がありません。同様の御意見はよく伺いますので、パブリックコメントの実施を広める努力をさせていただきたいと考えます。

## ② 環境について

### 【参加者】

ごみの集積所では、カラスによる被害が課題です。ごみを荒らされる度に掃除する必要があり、地域では困っています。ネットに代わる折りたたみ式のごみかごなどを利用すれば、カラス対策になります。

### 【市長】

ごみ対策については、地域の皆様に大変な御協力をいただいています、本当にありがとうございます。どの地域に伺っても、集積所におけるカラスなどによる被害のお話を伺います。集積所のネットは、譲り受けた漁網やゴルフ場のネットを再利用して自治会にお配りしていますが、カラスはネットの上からごみ袋をつついて穴をあけてしまいます。他市町の取り組みでは、金属製のボックスなどを用意しているところもあるので、参考にしながら改善を図っていきたいと考えます。

### 【参加者】

集積所では、不法排出の課題もあります。そこで、収集の手間はありますが、ごみを戸別収集にすれば、ごみに対する各家庭の責任感が生まれると思います。また、ごみ処理の有料化は必要です。有料によるごみ処理になれば、家庭から出るごみは減ると思います。

### 【市長】

ごみの収集は自治体直営からアウトソーシング（従来は組織内部で行っていた、もしくは新規に必要なビジネスプロセスについて、それを独立した外部組織からサービスとして購入する契約）になる時代です。全ての家庭における戸別収集は難しいことですが、サービスや利便性を考え、独居高齢者の方や高齢世帯への戸別収集を検討する必要があります。

日量315トンを焼却できる新しい環境事業センターが完成し、10月から正式に稼働します。また、各自治体単独でごみを焼却して処理することは地球環境にも悪影響なため、全国的にごみの広域処理がはじまっています。平塚市は大磯町、二宮町と協力しています。新しい環境事業センターを安定的に運営するため、これからも市民の皆様には、減量化や資源化をお願いさせていただく必要があります。ごみ処理の有料化については、大磯町や二宮町ではごみを出す袋を買っていただく、指定袋制や有料化を実施しており、平塚市でも有料化を含めた検討を行っていきます。



**【参加者】**

地域では、野良猫の増加や犬の糞の放置などで困っています。環境面や衛生面においても、大変心配なことです。

**【市長】**

野良猫の対策では、NPO団体の活動において、避妊手術など、数が増えることへの対策を行っています。行政はこの活動に補助金を出させていただいています。総合公園などでは、野良猫に餌を与えないように呼びかけも行っており、今後も対策を進めていきたいと考えます。また、犬の糞について、私の家の前の通りも、度々散歩中の犬の糞の放置が見受けられます。各地域の美化推進委員の方などによる、注意や看板の設置は根気強く取り組んでいただいています。条例においても取り上げていますが、基本的には飼い主の自己責任です。飼い主が責任を持って処理するよう、注意喚起も行っていきたいと考えます。

**【参加者】**

平塚駅南口の広場がきれいになりましたが、喫煙所がないためにポイ捨てされたたばこの吸い殻が落ちています。西口と北口には喫煙所がありますが、南口にはありません。整備された環境のためにも、南口には喫煙所が必要です。

**【市長】**

市税には、たばこ税も含まれ、年間17億円から20億円になります。決してたばこを推奨するわけではありませんが、吸う方の権利もあります。JT（日本たばこ産業）とは協調して北口に喫煙所を設置していただきました。南口に喫煙所がないという御意見も伺っていますので、JTには相談して検討させていただきたいと思います。また、さわやかで清潔なまちづくり条例では、喫煙禁止エリアやポイ捨て禁止を定めました。罰則規定はありますが、これまで罰則を科したことはありません。これからも、抑止策として機能させていきたいと考えます。

**担当課回答**（集会后、次のおり担当課に確認しました。）

平塚駅南口における喫煙場所の確保については、美化の維持及び喫煙者に対する一定の配慮も必要と考えられるため、受動喫煙防止対策も勘案しながら、別に設置の可能性を検討してまいります。

なお、たばこのポイ捨てについては、市内全域で禁止としていますが、特に、平塚駅周辺の路上喫煙禁止区域では、「条例啓発キャンペーン」やクリーンひらつか指導員による巡回指導等により、周知・啓発に努めてまいります。

（事務担当は循環型社会推進課資源循環担当）

### ③ 防災・防犯について

#### 【参加者】

地震による津波に備え、家族で対策を考えています。先日海岸で行われた避難訓練に参加したとき、ボードウォークまで避難すれば安全とのことでしたが、私が見たシミュレーションでは国道1号を越えて浸水する内容であったかと思えます。

#### 【市長】

東日本大震災が起きるまで、平塚市や神奈川県はそれほど大きな津波を想定していませんでした。しかし、東北地方を襲った津波は想定を超えるものでした。そこで、就任以降、市民の皆様の意識啓発のため、東海大学と協調して津波浸水モデルシミュレーションを作成しました。シミュレーションでは単純に5メートルと10メートルの津波による浸水の様子をお示しさせていただきました。その後の神奈川県での想定では、元禄型関東地震と神縄・国府津ー松田断層帯の連動地震が起きた時、平塚市に一番大きな津波が到達することが予想されています。地震発生19分後に6.9メートルの津波が到達する予想です。平塚市は国道134号の高さが約8メートルあるため、津波が国道を越えることは想定されません。訓練の際には、同様に十分な高さが確保できるボードウォークまでの避難を案内させていただきました。

また、線路より南側に住んでいる約4万人の方が津波から避難する津波避難ビルの指定も71か所になりました。これからも津波対策は継続して進めていきます。現在、龍城ヶ丘のプール跡地には利便性の高い施設を考えていますが、県とも協力してある程度高さのある建物を検討しています。

#### 【参加者】

災害時などに放送される防災行政用無線は、聞き取りにくい場合があります。

#### 【市長】

防災行政用無線が聞こえないという御意見は、どの地域でも伺います。風向きや家の気密性などが原因で聞きづらくなっています。市内124か所ある無線について、業者による定期的な点検や調整は行っていますが、全ての地域で改善されないことについては申し訳ありません。補完的なものとして、防災情報を発信するほっとメールや防災行政用無線で放送された内容を確認できるテレフォンガイドを整備しました。有事の際には、ぜひ御活用くださいますようお願いいたします。

**【参加者】**

須賀保育園跡地には、地域の防災対策の拠点となる施設を整備してほしいと思います。

**【市長】**

今、待機児童の課題があります。保育機能増加のために、この港地区には認定こども園の取り組みを、モデル地区としてお願いしています。須賀保育園と港幼稚園を統合し、保育機能を充実させる取り組みです。将来は、幼保一元化に向け、8園から10園への再編を考えています。この取り組みに伴い、御意見いただいた防災施設なども含め、地域の皆様の御意見を伺いながら、須賀保育園跡地の整備を検討していきたいと考えます。

**【参加者】**

2か月ほど前ですが、大学生の娘が平塚駅に住み着いているホームレスに声をかけられ、追いかけられました。お金や食べ物をもらうために声をかけているようです。駅を気持ちよく利用できるよう、対策を行ってほしいです。

**【市長】**

港地区では変質者による被害があり、地域の皆様にはパトロールをしていただいています。子どもや地域の方の安心安全を守っていただくことを本当にありがたく思います。防犯協会とも協調して地域の安全性を高める必要があります。そこで、今話題になっていることは防犯カメラの設置で、様々な検討をはじめています。しかし、私は地域の安全は地域の皆様によって守られていると考えています。これからも、地域の安全のために、御協力をお願いいたします。平塚駅のホームレス対策については、担当課に話をさせていただきます。

市役所は4月1日の機構改革において、防災危機管理部に危機管理課を新設しました。平塚市の治安が悪いという声を受け、平塚市全体の安全対策を充実させていきたいと考えています。

**担当課回答** (集会后、次のおり担当課に確認しました。)

本市では、市内で確認しているホームレス(野宿生活者)の方の巡回相談を毎月2回実施し、必要な助言及び支援を行っています。就労や住宅確保の希望者に対して情報提供するほか、福祉的援助や医療の希望者には、生活保護申請手続等の支援や医療機関への受診につなげるなど、必要な支援を行っています。

対話集会にてお話いただいた方と思われる、平塚駅の近辺で野宿生活をされていた方がいたことは本市としても把握しており、巡回相談でお会いできた際には声掛けをさせていただいていました。しかしながら、御本人が支援を希望

しない状況であったため、平塚駅や平塚警察署、医療機関などの関係機関と連携し、支援方法を協議しながら、生活保護の申請や施設入所など、自立に向けた支援を続けておりましたところ、現在は野宿生活を脱しています。今後もホームレス（野宿生活者）の方が自らの意思で安定した生活を営めるよう、支援を継続してまいります。

（事務担当は福祉総務課保健福祉総合相談担当）

**【参加者】**

地域の安全のため、街路灯による明るさはとても大切です。しかし、地域には点灯されていないものや壊れた街路灯がそのままになっているところもあります。

**【市長】**

街路灯には、市や自治会が管理する防犯街路灯や道路照明灯と商店街が管理する商店灯があります。最近では、商店街が商店灯を維持することも難しくなり、自治会等地域で管理する方法も考えているようです。明るさは犯罪を防ぐためにも大切です。また、電気代や環境にも配慮し、LED化による長寿命化も検討、実施しているところです。

**【参加者】**

須賀公園の樹木が生い茂る通りや港小学校の南側の通りは薄暗く、死角になりやすい防犯上危険な場所です。

**【市長】**

定期的な樹木の剪定は行っていますが、公園の樹木については、剪定してほしいという御意見と反対の御意見もあります。しかし、地域の危険には対応する必要があります。防犯街路灯も含めて自治会などから御要望をあげていただければ、地域全体の御意見として、対応を考えさせていただきます。

例えば、平塚駅南口に整備した広場南側の木が生い茂り、鳥の糞害に対する多くの御意見をいただきましたので、早速、剪定の対応も取らせていただきました。

#### ④ 福祉・教育について

##### 【参加者】

全国的な課題ですが、高齢者が増えて介護施設は不足しています。各施設では、1,000人以上が入所待ちをしているそうです。厚生労働省が推奨する在宅ケアはとても難しいことです。家族への負担が非常に大きく、介護のために仕事を辞めざるをえない人もいます。これからのまちづくりにおいて、介護施設不足への対策は大きな課題です。そこで、平塚市が所有する土地、例えば見附台体育館跡地などに大規模な施設を造り、施設不足を解消してほしいです。

##### 【市長】

施設には介護度が高い方から優先して入所します。今年度、片岡や桜ヶ丘の地域に特別養護老人ホームが新設されますが、それでも施設が不足していることは認識しています。待機児童同様、潜在的な課題であり、施設の増設による完全な解決は難しいことです。そこで、施設に頼らずに在宅サービスによって高齢者の方を支える方法を考えます。自宅に居ながら、医療や介護、福祉のサービスを受取できる地域包括ケアシステムや買い物難民にならないようにスーパーマーケットなどからの配達の仕事づくりが必要です。

##### 【参加者】

施設や在宅サービスだけでなく、これからは高齢者の生活を中心としたまちづくりも必要になります。

##### 【市長】

この港地区だけでなく、市内全域で高齢化は進んでいます。このほっとミーティングにおいても、高齢化に対応するまちづくりの必要性を感じています。平塚市の高齢化率は約23パーセントです。今後、団塊の世代の方が65歳を迎えると、高齢化率は30パーセントを超える見込みで、3人に1人が高齢者の方になります。先ほどの地域包括ケアシステムやコンパクトシティ化が求められる時代です。民生委員児童委員や地区社会福祉協議会など、地域の皆様の御支援をいただきながら、高齢者の方が住みやすいまちづくりを進めていきたいと考えます。

##### 【参加者】

平塚市の小学校には修学旅行がありません。他市町では校外学習として、修学旅行を実施する小学校があります。平塚市の小学生にも、修学旅行に行かせてあげたいと思います。

**【市長】**

平塚市において、小学校の修学旅行は決して禁止されていません。これまでの長い学校教育の取り組みの中で、行われてこなかったことでした。しかし、最近では議論の対象となり、行政は教育委員会や学校の意見を尊重する姿勢です。修学旅行が体験学習として、カリキュラムの中に位置づけられるなら、実施可能になると考えています。

**【参加者】**

長年、子どもの教育に携わっています。悪い面を指導してあげることが必要です。逆に、善い行いに対しても、善行奨励として称えてあげることによって、子どもは成長すると思います。

**【市長】**

子どもが善い行いをして褒められることは、子どもの成長のためにとても大切です。善行奨励を制度として行うには、青少年行政や教育行政などとの協議が必要になりますが、善い行いを称える仕組みはとても良い考えです。

## 7 市長によるまとめ

今日は港地区に関わる課題や御提案をいただきました。真摯に受けとめ、行政への反映を考えさせていただきます。

平塚市は全国でも珍しく、概ね小学校区ごとに公的な公民館があります。この須賀公民館が港地区のまちづくりの拠点となり、情報の発信や地域の活動の拠点となるよう、公民館のまちづくりセンター化にも取り組んでいきたいと考えています。

この港地区には歴史や元気があり、地域を想う人が多く住んでいます。これからも、港地区の皆様には地域の課題を捉えていただき、自らまちづくりに取り組んでいただければ本当にありがたく思います。行政は、皆様が住みやすいと思っていただけるまちづくりに一生懸命取り組むとともに、地域のまちづくりをお支えさせていただきます。今後も、皆様の御協力をお願いいたします。本日は本当にありがとうございました。

## アンケート結果報告

【回答数 32件（参加者 15件 傍聴者 17件）】

### 参加者・傍聴者について

#### 年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	不明
0名	2名	3名	5名	13名	9名	0名

#### 性別

男性	24名
女性	8名
回答なし	0名

**質問1** 今回の「ほっとミーティング」の開催はどこでお知りになりましたか。

#### 回答

	参加者	傍聴者	計
広報ひらつか	0名	4名	4名
ポスターやチラシ	3名	5名	8名
町内会など地域から	12名	8名	20名
市ホームページ	0名	0名	0名
その他	0名	0名	0名
回答なし	0名	0名	0名

**質問2** 市長との対話はいかがでしたか。

#### 回答

	参加者	傍聴者	計
よかった	6名	6名	12名
まあよかった	8名	8名	16名
どちらともいえない	0名	1名	1名
あまりよくなかった	0名	0名	0名
よくなかった	0名	1名	1名
回答なし	1名	1名	2名



**質問3** 本日の対話集会のご感想や運営へのご提案等について。

**回答**

- ・参加者が話す時間が短かった。
- ・若い世代に向けた取り組みも聞きたかった。
- ・このような集会を続けてほしいです。
- ・まちづくりは人づくりです、声かけ運動に取り組んでもらいたい。
- ・市長の生の声が聞けることは意味がある。
- ・自治会幹部が出席することは、集会の意味がない。
- ・対話のテーマを統一したほうが良い。
- ・市長からの回答はわかりやすかった。
- ・思った以上に色々な対策が考えられていると感じた。
- ・年に2回くらい開催してほしい。
- ・行政が目線を落とすほっとミーティングは良いことです。
- ・この地域の声を担当職員まで届けてほしい。
- ・とても良い対話集会でした。
- ・大変参考になる話を伺えました。
- ・本日の集会の内容から、行政への具体的な反映を期待します。
- ・時間が短かった。
- ・様々な要望がありましたが、住みやすい港地区になってほしいです。
- ・参加者に対して、公平に対応していただき良かった。
- ・フォローミーティングが必要かと思います。